

新国立競技場整備事業の木材利用について

平成28年2月23日

新国立競技場整備事業 大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所 共同企業体

- 1.外装材
- 2.構造材
- 3.内装材
- 4.調達について

1.外装材

2.構造材

3.内装材



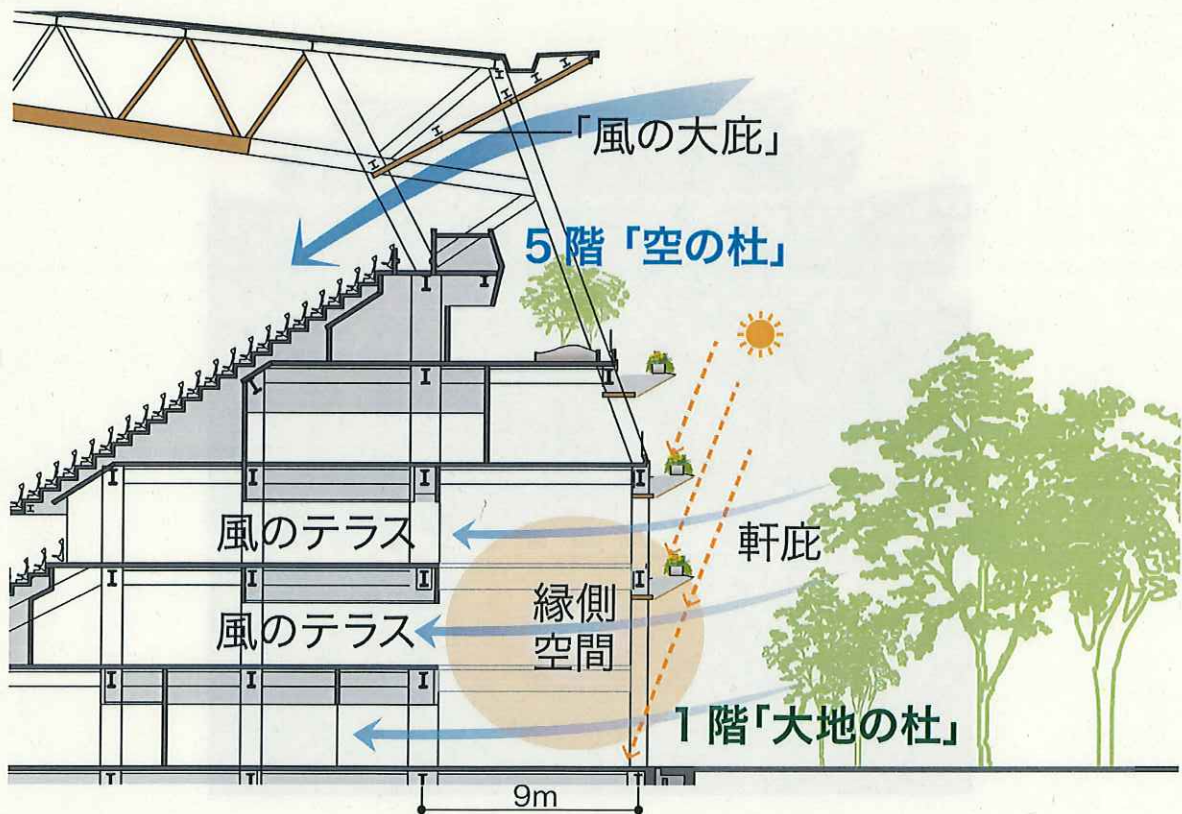
南東からの鳥瞰イメージ（競技大会後30年の姿）

1.外装材

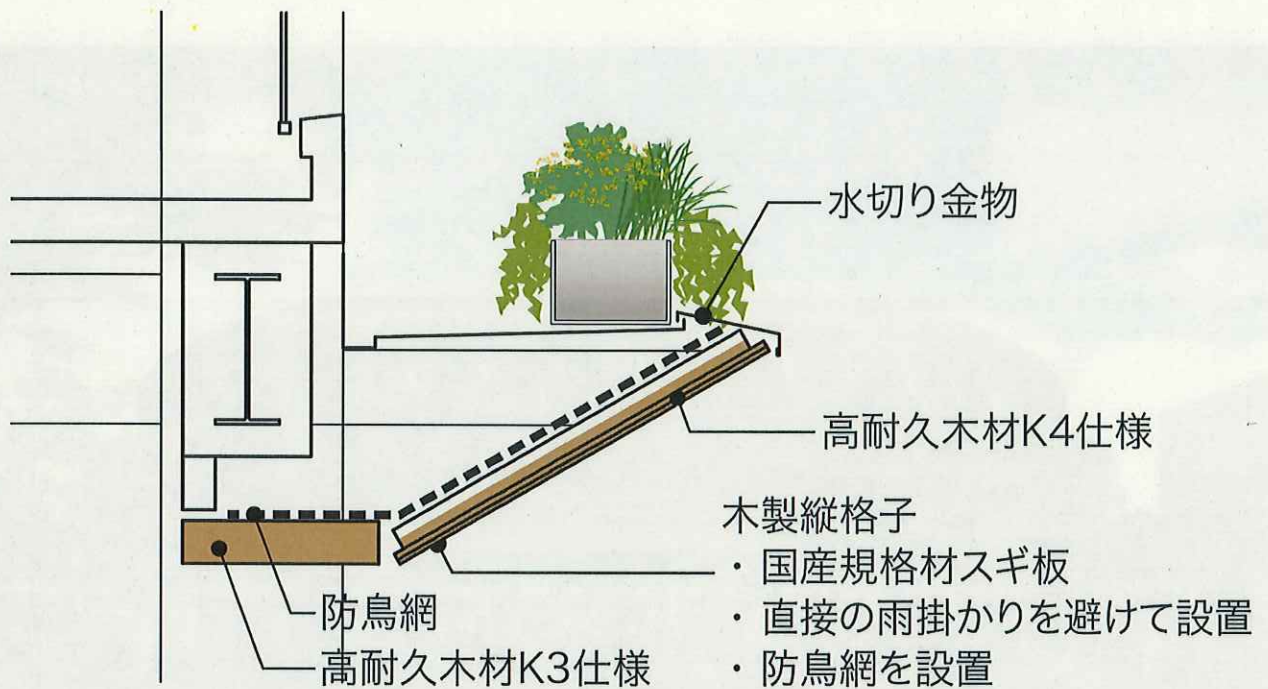


南側外観イメージ

外苑の緑と調和する木の外装



日射と雨を遮る「軒庇」



木材を多用した「軒庇」



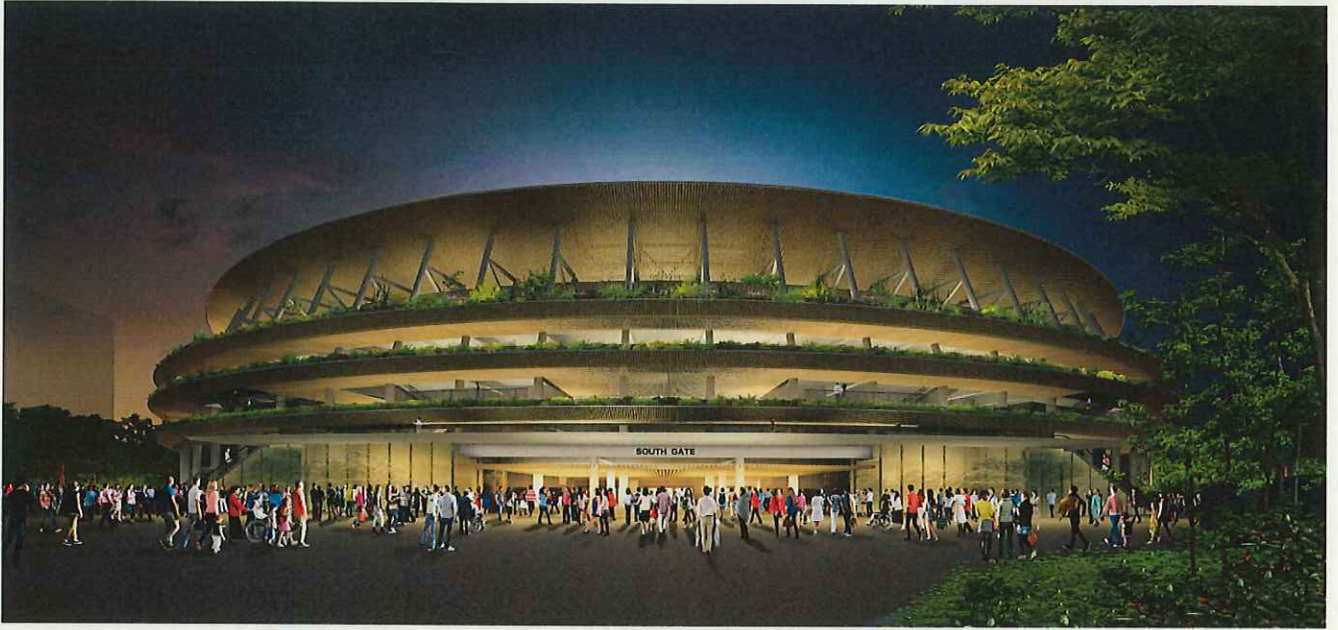
和を想起させる「軒庇」



外苑の木々と調和する柱のスタジアム



部分更新に配慮した木製縦格子



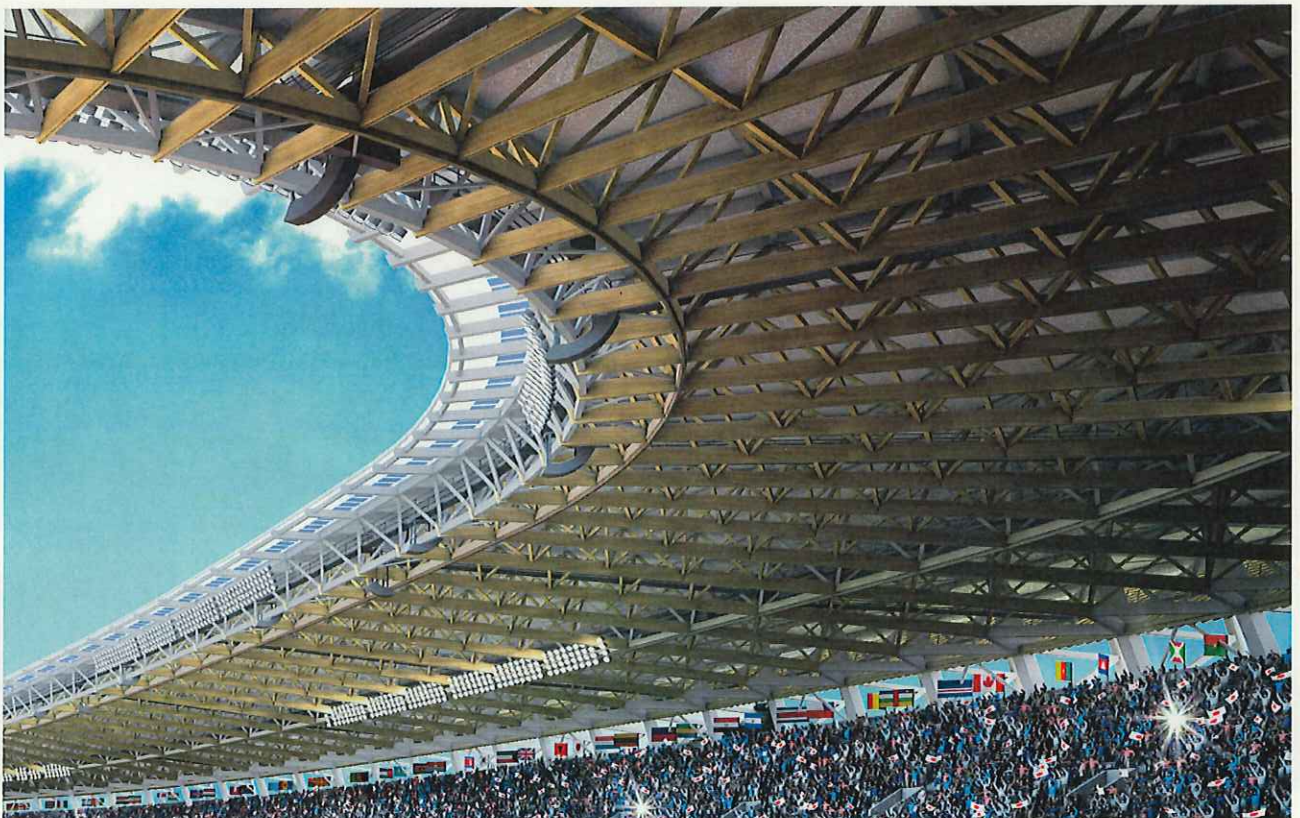
漏れ光により浮かび上がる「軒庇」

2.構造材



スタジアム内観イメージ

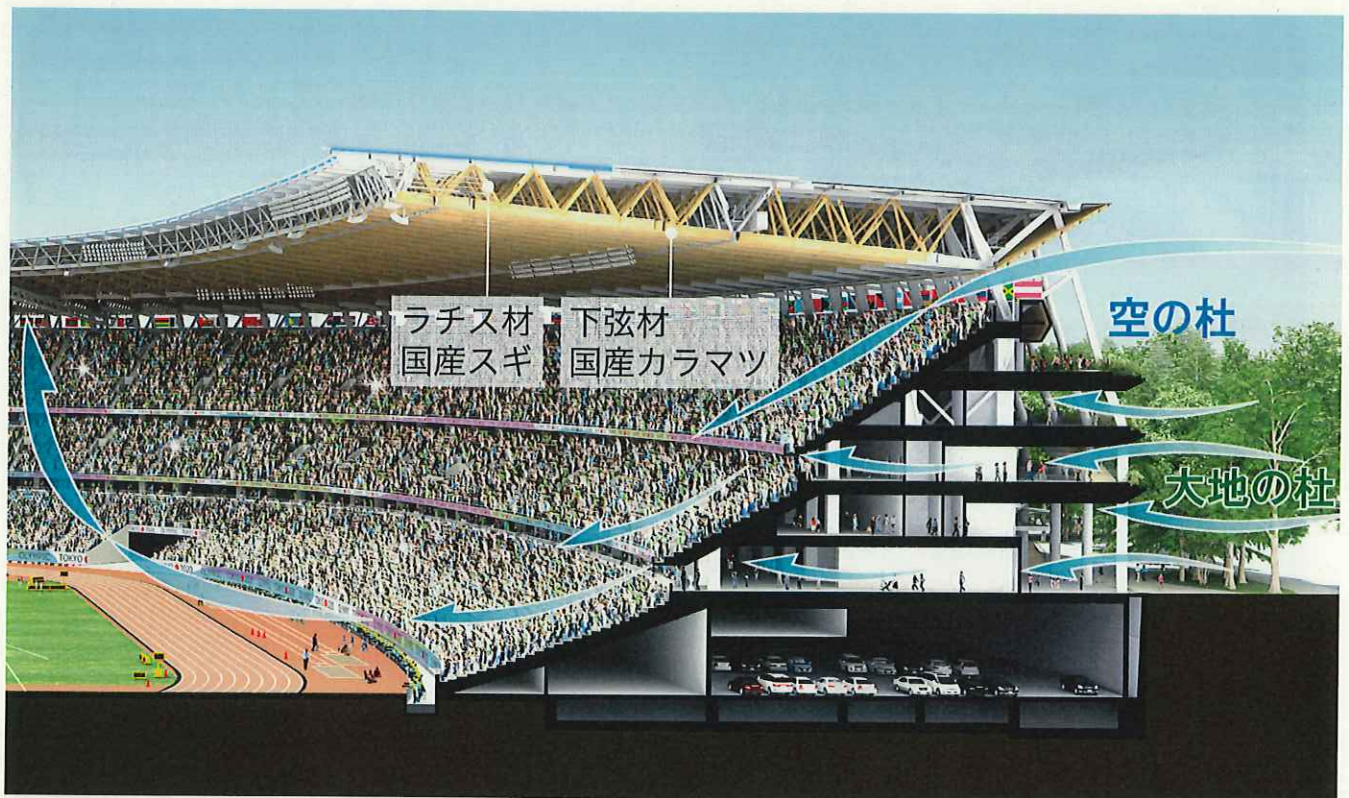
木で包まれたスタジアム



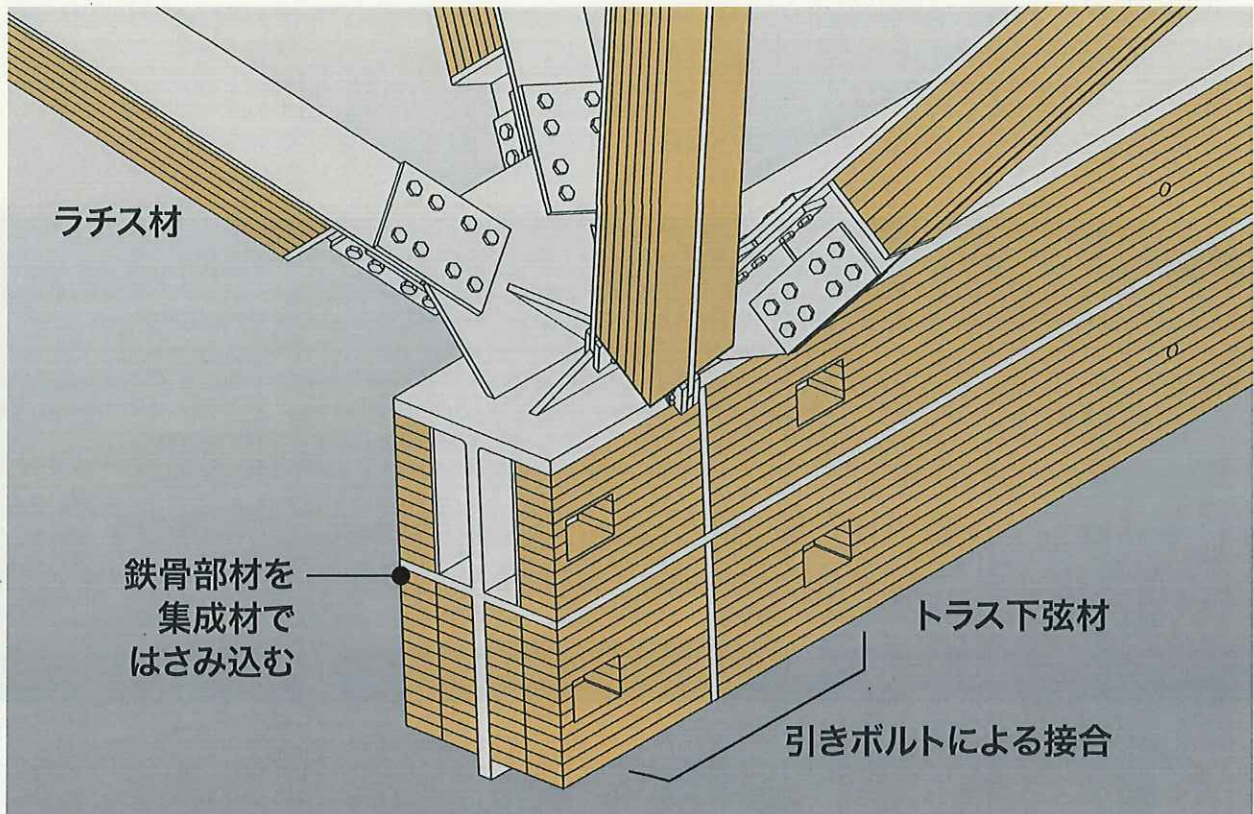
木で包まれたスタジアム



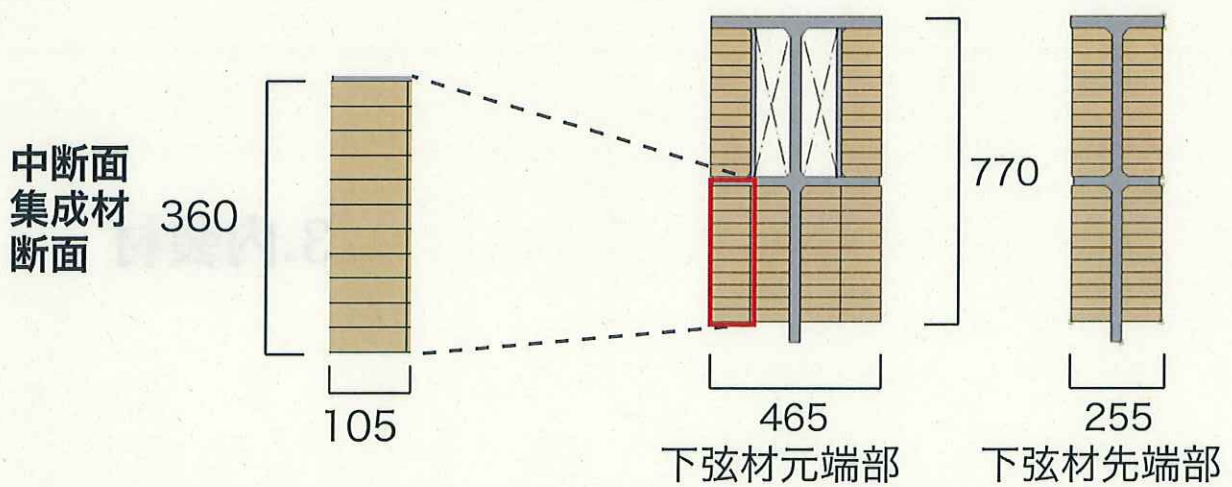
木で包まれたスタジアム



国産木材を多用した大屋根



木と鉄のハイブリッド構造



調達と加工が容易な中断面集成材



修繕更新に配慮したメンテナンスゴンドラ

3.内装材



風のテラス (3階)のイメージ

日本らしさを演出する木の内装



ラウンジのイメージ

日本らしさを演出する木の内装



エントランスのイメージ

日本らしさを演出する木の内装



ラウンジのイメージ

日本らしさを演出する木の内装



チーム更衣室のイメージ

日本らしさを演出する木の内装



CLT材を使用した屋外サイン

4.調達について

1. 選定する木材は、森林認証を得た森林から調達を行います。
2. 森林管理、木材加工流通システムで管理された、信頼性の高い木材を使用することで、生産履歴の管理により木材の品質を守ります。
3. 広く全国から集められるスギを主に使い、林業・木材産業の活性化を促します。
4. 全国から調達可能な中断面集成材を屋根面に使用します。